

U11a ダークマターの必要条件に

小堀しづ

1. どんな波長の光をも出さない。ダークマターは自転している電子のラブと陽子のラブです。自転し磁気的光子を出している。磁気的光子は、電気的光子でないので、光は出さない。2. どんな物質ともぶつからずすり抜ける。陽子のラブのダークマターの大きさは $1.356 \times 10^{-30}\text{m}$ で、電子のラブのダークマターの大きさは $2.488 \times 10^{-27}\text{m}$ です。それで、どんな物質ともぶつからずすり抜ける。3. 宇宙初期にほぼ速度0の冷たい物質。宇宙初期、10-20m時代、電子のラブのダークマターの自転軌道は、公転軌道 $\times 3.14 \div 1$ 公転の自転数 $\times 2731/2 = 10\text{-}20\text{m} \times 3.14 \div (7.96 \times 10^7 \text{回}) \times 16.523 = 6.518 \times 10^{-27}\text{m}$ です。自転速度(秒速)は、 $6.518 \times 10^{-27}\text{m} \times 3.14 \times (7.96 \times 10^7) \div 1 \text{秒} = 1.032 \times 10^{-2}\text{m/s}$ 、です。ダークマターは -273°C の物質です。4. 現在では、天の川銀河でのダークマターの速度は、秒速約 200Km になっている。天の川銀河のダークマターの速度は、宇宙の中心のブラックホールが作る速度です。軌道エネルギーは、 $4.827 \times 10^{27}\text{JKm} \div \text{軌道半径} = 4.827 \times 10^{27}\text{JKm} \div (1.305 \times 10^{23}\text{Km}) = 3.699 \times 10^4\text{J}$ 、です。この軌道の速度は、 $(3.699 \times 10^4\text{J})^{1/2} = 1.923 \times 10^2\text{Km}$ 、です。5. 冷たいダークマターの集合体が銀河の種となった。ダークマターを活性化(公転させる)メカニズムは、ダークマターの温度を上げる事です。銀河の傍に存在するダークマターは暖められ、水素に成り、星の材料に成る事ができる。6. 質量は見える物質の約5倍。講演する。